

2021 年 6 月 24 日

関係各位

株式会社パテント・リザルト

【機械】 他社牽制力ランキング 2020**トップ 3 は三菱重工、ダイキン、豊田自動織機**

弊社はこのほど「機械業界」を対象に、2020 年の特許審査過程において他社特許への拒絶理由として引用された特許件数を企業別に集計した「機械業界 他社牽制力ランキング 2020」をまとめました。この集計により、直近の技術開発において競合他社が権利化する上で、阻害要因となる先行技術を多数保有している先進的な企業が明らかになります。

結果、2020 年に最も引用された企業は、1 位 **三菱重工業**、2 位 **ダイキン工業**、3 位 **豊田自動織機**となりました。

【機械業界 他社牽制力ランキング 2020 上位 10 社】

順位	企業名	引用された特許数
1位	三菱重工業	1,826
2位	ダイキン工業	1,190
3位	豊田自動織機	831
4位	日本精工	712
5位	IHI	704
6位	クボタ	662
7位	NTN	528
8位	川崎重工業	498
9位	ヤンマーパワーテクノロジー	497
10位	コマツ	482

【ランキングの集計対象について】

日本特許庁に特許出願され、2020 年 12 月までに公開されたすべての特許のうち、2020 年 1 月から 12 月までの期間に拒絶理由（拒絶理由通知または拒絶査定）として引用された特許を抽出。

本ランキングでは、権利移転を反映した集計を行っています。2021 年 5 月 1 日の時点で権利を保有している企業の名義でランキングしているため、出願時と企業名が異なる可能性があります。

なお業種は、総務省の日本標準産業分類を参考に分類しています。

1 位 **三菱重工業**の最も引用された特許は「来場者への情報提供、警備、避難誘導などを行える、ロボットによるサービスシステム」に関する技術で、本田技研工業の計 5 件の審査過程で引用されています。このほか「ボイラ火炉等の構造物の屋内監視システム」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、センシンロボティクスの「高さ位置取得・撮像システム」など計 5 件の拒絶理由として引用されています。

2020 年に、三菱重工業の特許により影響を受けた件数が多い企業は三菱パワー（65 件）、東芝（48 件）、GENERAL ELECTRIC、IHI（いずれも 46 件）となっています。

2 位 **ダイキン工業**の最も引用された特許は「ロータコア内部にあり、局所的な減磁防止を図った永久磁石」に関する技術で、三菱電機やデンソーなどの計 8 件の審査過程で引用されています。このほかには「空気の吸込み量の過不足の発生を抑えることのできる空気調和機の室内機」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、パナソニック IP マネジメントの計 5 件の拒絶理由として引用されています。

2020 年に、ダイキン工業の特許により影響を受けた件数が最も多い企業は三菱電機（182 件）、次いでパナソニック IP マネジメント（75 件）、日立ジョンソンコントロールズ空調（62 件）となっています。

3 位 **豊田自動織機**の最も引用された特許は「優れた充放電容量を有しかつ優れたサイクル特性を有するリチウムイオン二次電池」に関する技術で、日立製作所の「二次電池、半電池及び二次電池の製造方法」関連特許 4 件の審査過程において拒絶理由として引用されています。

2020 年に、豊田自動織機の特許によって影響を受けた件数が最も多い企業はトヨタ自動車（63 件）、次いで三菱電機（33 件）、デンソー（21 件）となっています。

4 位 **日本精工**は「転がり軸受に封入して使用した際に、定常状態でのトルクが低く、音響特性にも優れたグリース」、5 位 **IHI** は「木質系バイオマスを用いた燃料製造方法」が、最も引用された特許として挙げられます。

* * *

また弊社では、ランキングデータを下記の通り販売しています。

【機械業界 他社牽制力ランキング 2020 データ】

▶納品物：以下のデータを収納した CD-ROM

- ・ランキング トップ 50 社：本業界の被引用件数上位 50 社のランキング
- ・被引用件数 トップ 100 件：本業界の被引用件数上位 100 特許、及び引用先の特許との対応

▶価格：50,000 円（税抜）

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社パテント・リザルト 事業本部営業グループ

TEL：03-5802-6580 FAX：03-5802-8271 HP：<https://www.patentresult.co.jp/>